

平成30年度 決算報告

特別会計の状況

4つの特別会計の各決算額は次のとおりです。

特別会計区分	歳入総額	歳出総額	歳入歳出差引額
国民健康保険事業	45億8,285万6千円	44億6,230万7千円	1億2,054万9千円
財産区	14億733万4千円	3,936万8千円	13億6,796万6千円
介護保険事業	24億8,991万7千円	24億2,658万5千円	6,333万2千円
後期高齢者医療事業	4億4,691万8千円	4億2,854万1千円	1,837万7千円
(合計)	89億2,702万5千円	73億5,680万1千円	15億7,022万4千円

平成30年度の 財政健全化判断比率・資金不足比率

「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」が平成20年4月から一部施行され、この法律により地方公共団体は、毎年度、実質的な赤字や外郭団体を含めた実質的な将来負担などに係る指標（「健全化判断比率」と公営企業ごとの資金不足率（「資金不足比率」）を公表することとされました。

(単位：％)

	健全化判断比率【播磨町】	早期健全化基準	財政再生基準
実質赤字比率	－	14.12	20.00
連結実質赤字比率	－	19.12	30.00
実質公債費比率	▲0.1	25.0	35.0
将来負担比率	－	350.0	

※赤字額がない場合、実質赤字比率と連結実質赤字比率は「－」と表示します。

※将来負担比率については、算定されない場合「－」と表示します。

(単位：％)

	資金不足比率【播磨町】	経営健全化基準
水道事業会計	－	20.00
下水道事業会計	－	20.00

※資金不足が生じない場合は「－」と表示します。

健全化判断比率における各指標について

『実質赤字比率』とは…

福祉、教育、まちづくりなどを行う地方公共団体の一般会計などの赤字額を町税などの財源の規模と比較して指標化し、財政運営の深刻度を示すものです。

本町の場合は、実質収支は5.4億円（8.0％）の黒字となるため、実質赤字比率は「－」と表示されます。

『連結実質赤字比率』とは…

播磨町には、一般会計のほかに国民健康保険事業特別会計など3つの特別会計（財産区除く）と水道事業会計・下水道事業会計があります。その全ての会計の赤字や黒字を合算し、その団体全体の資金の不足の程度を把握するため、町税などの財源の規模と比較して指標化し、地方公共団体全体としての運営の深刻度を示すものです。

本町の場合は、連結実質収支は20.3億円（29.9％）の黒字となるため、連結実質赤字比率は「－」と表示されます。

『実質公債費比率』とは…

借入金の返済額及びこれに準じる額の大きさを指標化し、資金繰りの危険度を示すものです。

本町の場合は、実質公債費比率は▲0.1％となり、前年度と比較して、0.2ポイント増加しており、早期健全化基準を大幅に下回っています。

『将来負担比率』とは…

地方公共団体の一般会計の借入金（町債）や将来支払っていく可能性のある負担などの現時点での残高の程度を指標化し、将来財政を圧迫する可能性が高いかどうかを示すものです。

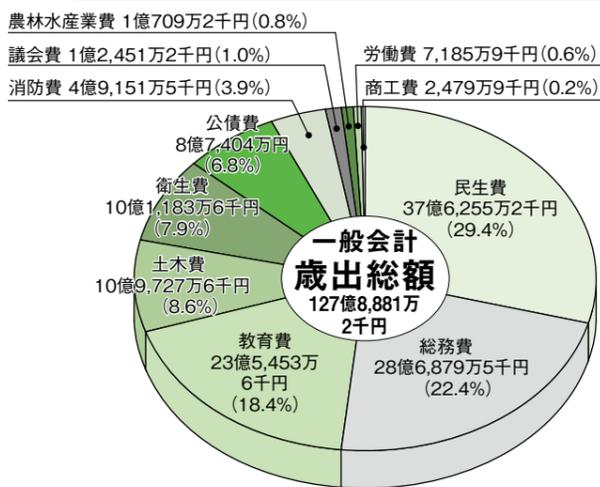
本町の場合は、将来負担比率は▲130.4％となり、将来負担額が算定されないため「－」と表示されます。

『資金不足比率』とは…

公営企業の資金不足を、公営企業の財政規模である料金収入の規模と比較して指標化し、経営状況の深刻度を示すものです。

本町の場合は、水道事業、下水道事業がこの比率の対象となりますが、いずれも資金不足は発生しませんでした。

歳出総額 127億8,881万2千円



歳出

歳出は、総額127億8881万2千円で、前年度に比べて13億8076万4千円、12.1％の増となりました。

この中で、最も支出の多かったのは「民生費」で37億6255万2千円、全体の29.4％を占め、健康いきいきセンターなどの運営や障がい者、高齢者などの社会福祉事業に約21億7600万円、乳幼児などの医療費の助成や保育園の運営に加え、児童手当の支給経費などの児童福祉事業に約15億8600万円を支出しました。

次に多いのが「総務費」で28億6879万5千円、全体の22.4％を占め、町の一般的な管理事務経費である総務管理費（基金の移し替えを除く）に約10億1600万円、税の賦課徴収などの事務経費の徴税費に約1億900万円を支出しました。

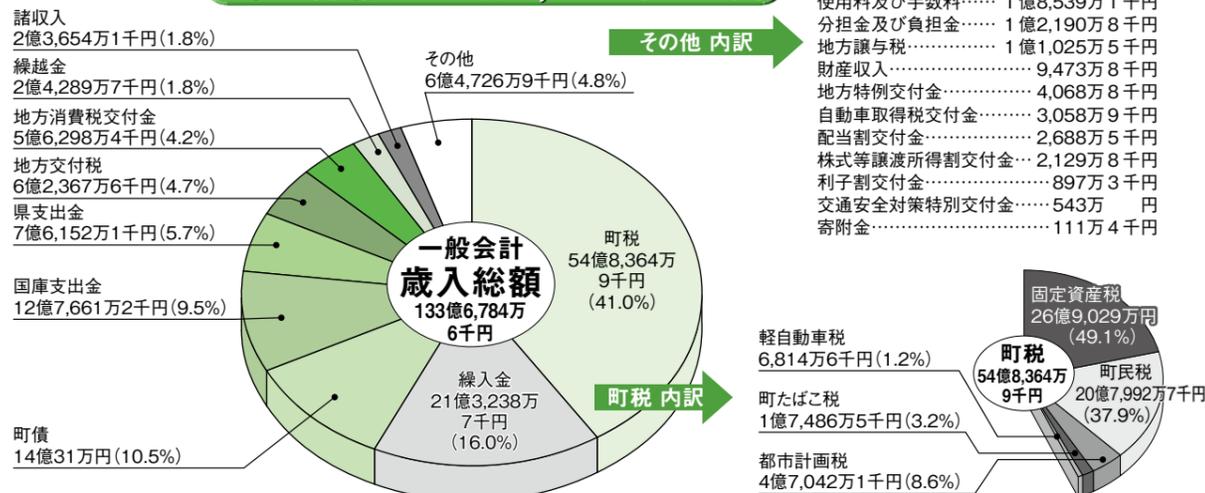
「教育費」は、23億5453万6千円、全体の18.4％を占めています。小・中学校関係に約13億6400万円、幼稚園関係に約2億3200万円、公民館・コミセン・図書館などの運営や人権教育の充実など社会教育関係に約4億2900万円、そしてスポーツ施設関係に約6

3000万円を支出しました。

「土木費」は10億9727万6千円で全体の8.6％を占め、公共下水道や公園、緑化推進などの都市計画費として約8億7600万円、道路維持や橋りょう維持などの道路橋りょう費に約1億3800万円を支出しました。

借金の返済にあたる「公債費」については、8億7404万円で全体の6.8％を占め、これまでに各種施設の建設・改修などのために借り入れたお金の返済に使用しました。

歳入総額 133億6,784万6千円



歳入

歳入については、総額133億6784万6千円で、前年度に比べて11億1690万1千円、9.1％の増となりました。

このうち、皆さまから納めていただいた町税（町民税・固定資産税・軽自動車税・町たばこ税・都市計画税）は、54億8364万9千円で、前年度に比べて3853万7千円、0.7％の減となりました。これは、法人町民税では約5300万円の減、個人町民税では約1900万円の増となったことが主な要因です。

町の貯金でもある基金からの

町債（町の借金）については、14億31万円で、約2億8700万円の増となっています。これは、小中学校の大規模改造に伴う起債で約2億3000万円の増、臨時財政対策債で約2300万円の減となったことが主な要因で、平成30年度末の町債残高は、約91億4600万円となりました。

繰入金については、総額21億3238万7千円（16.0％）で、前年度に比べて1億2900万3千円、6.1％の増となりました。これは、国や県からの補助金が主な収入で、道路や施設の整備、教育や福祉事業などの住民サービスに使うお金は、この会計から支払います。

特別会計は、その目的の事業にのみお金が使われ、播磨町では、国民健康保険、財産区、介護保険、後期高齢者医療の4つの特別会計があります。

使用料及び手数料…… 1億8,539万1千円
分担金及び負担金…… 1億2,190万8千円
地方譲与税…… 1億1,025万5千円
財産収入…… 9,473万8千円
地方特例交付金…… 4,068万8千円
自動車取得税交付金…… 3,058万9千円
配当割交付金…… 2,688万5千円
株式等譲渡所得割交付金…… 2,129万8千円
利子割交付金…… 897万3千円
交通安全対策特別交付金…… 543万 円
寄附金…… 111万4千円

固定資産税 26億9,029万円 (49.1%)
町税 54億8,364万9千円 (41.0%)
町民税 20億7,992万7千円 (37.9%)
町税 9千円 (0.007%)
町民税 20億7,992万7千円 (37.9%)
軽自動車税 6,814万6千円 (1.2%)
町たばこ税 1億7,486万5千円 (3.2%)
都市計画税 4億7,042万1千円 (8.6%)

皆さまが納めた税金や国・県からの補助金は私たちの生活をより良くするためにいろいろな形で使われています。今回は、平成30年度決算についてお知らせします。

▼問合せ 総務グループ ☎079(435)0357

用語解説 <歳入> 町税…所得にかかる町民税や土地・建物に係る固定資産税など 国庫支出金、県支出金…事業を行うための国や県からの負担金や補助金 町債…事業を行うために借入れたお金 繰入金…各種基金（預金）から一般会計へ繰り入れたお金 <歳出> 民生費…高齢者や障がい者、児童のための福祉など 総務費…財産管理や企画・税務事務など 教育費…学校や公民館の維持管理など 土木費…道路や公園の維持管理など 衛生費…ごみ・し尿処理や予防接種など 公債費…町債（借入金）の返済など 消防費…消火・水防活動など 議会費…議会の運営など 農林水産業費…農業・水産業の振興など 労働費…労働者への福利厚生など 商工費…産業の振興や観光など